

## 令和4年度 富良野市市民参加制度調査審議会 議事録(要点筆記)

令和4年11月18日 16:00~17:00 市役所会議室

### ○会長挨拶

新型コロナの第8波が北海道で広まっている中、委員の皆様にも気を付けていただきたいと思います。本日の議題については議案に沿って進めていきますので、忌憚のないご意見、ご質問をお願いします。

### ○議事に関する主な意見

(委員)市民参加のルール条例について、どのようなときに、どのような方法で市民参加を図るのかということの説明でした。この制度と体制について検討するのが、本審議会の役割でもあります。令和3年度の実施報告で、いろいろな場面で市民の意見を聞き取っていることがわかりました。

(委員)市民アンケートの配布先は抽出で決めているのか。

(事務局)令和3年度は市民アンケートを2回実施しています。どちらも無作為抽出により配布先を決定しています。

(委員)幸福度調査は約2,600人に配布し889人が回答している。調査結果は市のホームページで公表しているとのこと。どのような内容が関心があるので、パソコンで見たいと思う。

(委員)出前講座の実績をみると、4年前のブラックアウトの関連もあり、地域ぐるみの防災教室が5回開催されている。自主防災組織やハザードマップなど、防災に対する関心が高まっている結果だと感じた。

(委員)昨年、市の政策に対して意見を出しにくいので、敷居を下げられないかとの意見があった。パソコンを開いて、市のホームページを探して、パブリックコメントのページを探すような手間をかけずに、現在は、広報紙にパブリックコメントのQRコードを付けて、そこから関連ページにジャンプすることができるようになっている。今後もより簡易な方法で意見をだせるように工夫してほしい。

(委員)富良野市公式LINEのともだちの人数は何人か。

(事務局)今時点で15,628人です。

(委員)市外の人もあるかもしれないが、市からの情報を受け取っている人がそれだけいる。パブリックコメント手続きと直接的な結びつきはないかもしれないが、市民が直接意見を返していくことで、市が取り組んでいることに関心を持ってもらうことにつながる。そうしたハードルの低い入り口もあるので、富良野市公式LINEに友達登録してもらいたい。